

第2回 栗東市公の施設指定管理者選定委員会（環境経済部）議事要約

令和7年10月21日（火）午後1時30分～午後3時00分
栗東市役所3階談話室

1. 開会

- ・全委員出席。
- ・栗東市公の施設指定管理者選定委員会設置規則（以下、「規則」という。）第5条2項により、委員の過半数以上が出席しており会議は成立。

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

（会長あいさつ）

本施設は農業振興関係の施設ですので、市民を含めた幅広い方々に農業関係のことをアピールする非常に重要な施設であると思いますので、しっかりと選定できたらいいなと思う。

4. 選定方法について

《資料説明（事務局）》

- ・前回の選定委員会で説明した内容を確認。

《質疑応答》

- ・質問等なし

5. 面接審査・選定委員採点について

○栗東農畜産物処理加工施設プレゼンテーション

《アグリノ郷栗東株式会社（3名出席）》

- ・施設の管理運営について

施設の設立の目的を具現化すると1つ目は地元産野菜と果物の加工販売、2つ目は地元産野菜と果物の直売、3つ目は関係機関と連携して農業振興と営農者の育成を図る、4つ目は栗東市の観光の玄関口として栗東市への集客とPRを基本として運営してきた。

地元産野菜の販売については、野菜販売は全体で3%の売上げしかなく、残りの97%はレストランの経営や加工品の販売等であるため、地元産農産物の加工販売は非常に重要な業務になっており、多くのお客様に消費して頂くためには商品開発が非常に重要となってくるため、日々、新商品の開発に取り組んでいる。（いくつかのテレビ局からも取材を受け、地元をはじめ中部地方や京阪神からのお客様にも購入いただいている。）

地元産野菜と果物の販売については、道の駅らしいセールやイベントを数多く開催し、システムの販売実績データを使用して、栽培や出荷調整、営農者支援、販売支援を行っている。

道の駅らしいイベントとして、朝市、軽トラ市、餅つき大会等のイベントも行っている。

集客のために駐車場にイベントの開催の告知やセール内容を詳細に貼りだして、出店や催事を告知している。これらの情報はSNSでQRコードを読み取ってご覧いただけるようにもしてい

る。

《質疑応答》

委員

過年度の貸借対照表等を見させていただいて、コロナ禍であるにも関わらず売上也順調に上げられて、内部留保も流動比率も非常に高い健全な会社であると思う。また、令和4年度から正職員を臨時職員に変更されたにも関わらず5年間で35%も賃金比率を上昇されて、令和8年度以降も5%程上昇されるということで、かなり高い評価しているのですが、1点気になる点がありまして、収支予算書の令和8年度からの売上がかなり下がっているように見えます。令和7年度が2億円程の売上になっているのが、令和8年度は1億8千百万円程になり94.6%下がり、前年(令和8年)対比の翌年(令和9年)度で2.6%、以降は1.5%、0.7%、0.8%と過去5年間と比較して、かなり10%、5%、3%とか顕著に売上を上げられていたのが、令和8年度の売上げがかなり下がっている理由をお聞かせ願いたい。

アグリの郷栗東株式会社

純利益は令和3年で6百10万円、令和4年で1千37万円を上げているが、経費削減できる部分がいっぱいあったため、それを落として、道の駅らしいことをどんどん行うことで純利益を上げてきた。売上げは右肩上がり5年、6年と上がってきているが、経費削減はできることが無くなってきており効果が見込めない。また毎年のように最低賃金が上昇してきており、パート従業員の給料が上がって、物価上昇して売上げが上がるものの純利益が下がってきているという状況である。今年に入って施設の近隣周辺にスーパーマーケットが進出してきて新鮮野菜の販売をされており、それにも対抗しないといけない。このようなこともあり、予測であるが、施設は4月から9月までで10%程度入り客数は減少してきている見込みである。昨年度は年間40万8千人あったが、今年は10%程度下がっていて年間の入り客数も下がる見込みであるため、売上げの見込みも下げている状況である。

委員

モニタリングを行っているということであるが、レストランや農産物直売所に関してお客様からはどのような反応や意見がありますか。

アグリの郷栗東株式会社

アンケートを入口に置いており、書かれたアンケートは集計してその結果をホームページに掲載している。アンケートの結果としては施設については「駐車場が狭い」といったことや「トイレが汚い」といった意見がありトイレは昨年度に市でリニューアルして頂いた。農産物直売所は特にないが、家庭菜園の延長で作られている農家さんには研修を受講していただきながら改善しているが、キュウリが曲がっていたりナスの表面に傷がついたりすることがあるので、常時、責任者やスタッフがチェックしながら出荷組合の役員会等でお願いして改善して頂いている。レストランについては非常に良い評価を頂いておりリピーターも多い。

委員

施設はドクターイエローで人気があって若者から高齢者まで幅広いお客様が来客されていると思うが、今後、次期指定管理期間である2027年頃にドクターイエローが廃止されるという報道がある中で、このレガシーを活かすとかいった考えはあるか。

アグリの郷栗東株式会社

「ドクターイエローありがとうセール」を月に1回開催している。セールだけでなく、グッズを販売したり、レストランのお子様ランチのトレイにドクターイエローのトレイを使用してメニューとして提供したりしている。今後もグッズ販売やお子様ランチの販売等は継続し、2年後までさよならセールは継続し、記憶に残るようにドクターイエローのパネルの設置も考えている。新幹線が目の前で見えるレストランとしても運営を継続していきたい。

委 員

野菜の販売額が3%程度であり、課題の方も農業者の高齢化や競合店の設置等を挙げて頂いていたが、何か地元産野菜をPRしていくとか売上げを伸ばしていくという方策は何かあるか。

アグリの郷栗東株式会社

まず、出荷していただく農業者を増やしていかなければならないということがあるので、国道1号線、8号線を越えないと9時までに施設に来れない農業者に対しては前日に集荷作業を行って頂くことを検討している。またJAの「田舎の元気や」にしか出荷していない農業者にも出荷して頂けるように働きかけることも検討している。

委 員

次期指定管理期間の5年間では難しいことかもしれないが、新規就農者を増加させることで何か考えられることはあるか。

アグリの郷栗東株式会社

募集段階とかではなく販売に関することであれば、新規就農者にどのような野菜を生産したら売れるとか、夏期に強い野菜が良いであるとか、値段のつけ方で売上げが変わるとか、そういったことであればアドバイスしていくことができると思う。

6. 候補者の選定について

《採点結果説明（事務局）》

会 長

事務局から報告があった選定結果について、意見や評価はあるか。

委 員

現指定管理者は、環境変化がある中で例えば農家の高齢化とか競合先の増加といった所に現実的な対応や努力をされているなど感じた。

委 員

直面されているのは、日本の農業の問題であり、高齢化が進んで、若者が就農されないという問題が大きなネックになっており対応していくのが大変なのではと思った。

委 員

物価高騰、野菜の価格もかなり上がってきており、そのようなところでどのような対応をしていくのか、ということが重要になってくると思う。いろんな考え（ノウハウ）をお持ちなので期待できるのではないかと思う。

委 員

収支予算書は、物価高騰、人件費等の経費の増大に十分に対応された中で計画されたものであると感じた。

会 長

事務局から報告があった「指定管理者指定申請に伴う指定管理者候補者の選定結果について」の内容で、栗東農畜産物処理加工施設については、アグリの郷栗東株式会社を指定管理者として選定することで決定してよろしいか。

全委員

異議なし。(全員賛成)

7. その他

《今後のスケジュールと委員の任期及び報酬等の支払い説明（事務局）》

会 長

委員の任期は指定管理者を選定するまでなので、これをもちまして終了します。

8. 閉会

(副会長あいさつ)